

ATEM Newsletter



発行 映画英語教育学会
住所 〒169-0075
東京都新宿区高田馬場
4-3-12アルク高田馬場4F
TEL 03-3365-0182
FAX 03-3360-6364
E-mail office@atem.org
郵便番号 00820-3-1477

支部・委員会活動報告特集

April, 2015

映画英語教育学会 / The Association for Teaching English Through Movies

May Our Own Academic Heterogeneity Further Flourish!

ATEM President **Makoto Kurata**
(Kyoto University of Foreign Studies)

映画英語教育学会会長 倉田 誠 (京都外国語大学)

Ladies and Gentlemen,

The makeup of ATEM is really interesting and unique, in that we have a wide variety of English teachers who have their own objectives to join regional, national and international levels of activities to stimulate and satisfy their professional curiosities. For example, we have a large membership of junior and senior high school teachers. They are basically interested in learning how to pull themselves out of their ruts of routine activities by effectively introducing a few movie scenes to their classroom teaching practices.



ATEM can also be regarded as a heterogeneous academic organization in a different sense, because it consists of many different kinds of college professors and scholars who specialize in their own genres of studies. It goes without saying that quite a few members are into what we might call “the narrow or central sense” of English education, which can be broken down into a few subfields such as teaching techniques, curriculum design, statistical studies, teaching material development and so forth. However, many others delve deeply into what we might call “the broad or peripheral sense” of English education. Pedagogical applications of English linguistics, cultural studies, area studies, communication studies, and translation studies are here to exemplify our broad sense of English education and academic heterogeneity.

As we have recently ascended to a higher academic stage, we have developed our own scholastic arena where the members make academic use of a tremendous amount of linguistic and non-linguistic information carefully calculated and condensed into movies and other audio-visual media by gifted writers. This is where ATEM and STEM (The Society for Teaching English through Media) stand in close collaboration with each other, and so we would like to continue to go hand in hand with our wonderful research kin in South Korea in order to strengthen our friendly relations and expand our scholastic caliber.

Finally, I would like to humbly remind you of our three grand opportunities to demonstrate and observe our broad sense of English education and academic heterogeneity. (1) ATEM Journal (Eiga Eigo Kyouiku Kenkyu), which comes out once a year in March, covers a variety of movie/media-based studies conducted in the broad sense of English education (See page 6 for details). (2) STEM, which has traditionally held their conferences in the middle of May, is now planning on assembling in October from the year 2016. They are considering mingling with a large international media organization called ICEM (The International Council for Educational Media). I will attend a joint meeting organized by STEM directors and ICEM directors on May 16 to see if ATEM can also tie up with the two flourishing organizations. The information about this year’s STEM conference is available on page 5. (3) The 21st ATEM National Convention, which will be taking place at Kyoto Women’s University on August 7, will undoubtedly provide you with an opportunity to experience our unique academic heterogeneity, which is dexterously put together by our use of movies and other media. Please move on to the next page of this newsletter to see the details of our academic powwow and blend right in. Thank you.

第 21 回 映画英語教育学会 ATEM 全国大会

The 21st ATEM National Convention

開催日:平成 27 年8月7日(金) / Date: August 7 (Fri), 2015

会場:京都女子大学 / Place: Kyoto Women's University

テーマ:映画で英語学習を観なおす

Theme: Revisiting English Learning through Media

本年8月7日、京都女子大学にて、第 21 回 ATEM 全国大会が開催されます。この大会の特別講演者としてお招きするのは、京都外国語大学教授の小野隆啓先生です。小野先生は、MIT のノーム・チョムスキー博士とも長く親交を結んでおられる生成文法の専門家ですが、同時に、日本で最も早く映画を英語の授業に採り入れた先駆的教育者の一人として、また映画を使った2言語同時教育の推進者としても知られています。まさに、大会テーマ「映画で英語学習を観なおす」の基調講演者として相応しい方と言えるでしょう。この貴重な特別講演を、多彩なシンポジウムや研究発表と共に楽しみ下さい。

夏休みに入って間もない8月7日は、あなたも日本文化の中心地、国際観光都市・京都で、有意義な一日を過ごしませんか? ※本大会とほぼ同時期にインターハイと国際経済学会が京都で開催されます。京都駅近辺のホテルが混みあうことが予想されますので、宿泊をお考えの方はお早めのご予約をお勧めします。

■プログラム

時間	項目
9:15	受付開始
10:00-10:10	開会式
10:15-10:45	STEM特別発表
10:50-11:17	発表1(4教室)
11:20-11:47	発表2(4教室)
11:50-12:17	発表3(4教室)
12:20-14:20	ポスターセッション
12:20-13:10	昼食・休憩
13:10-13:27	総会
13:30-13:57	発表4(4教室)
14:00-14:27	発表5(4教室)
14:30-15:50	シンポジウム(3教室)
16:00-17:15	特別講演 ※右記参照
17:15-17:20	閉会式
17:40-19:40	懇親会

※詳細は発表者決定後に本部ホームページへ掲載します。

※大会参加費:1,000 円(非会員 2,000 円)

【発表応募方法】

下記ホームページ掲載の募集要項に従い、会員専用ページ(本号最終頁参照)よりお申込みください。

*English presentations will be welcomed.

<http://www.atem.org/>

応募締切:2015 年 5 月 10 日(日)

応募資格:ATEM会員であり、2015 年度分の会費を納入していること。

■特別講演

映画を使った「2言語同時学習」のすすめ
(Bi-language Simultaneous Learning with the Aid of Movies)

講師:小野 隆啓 先生(京都外国語大学)

小野先生が主導される京都外国語大学の「2言語同時学習」の授業は、英語ともう一言語を対照言語学的に比較対照することで、学習者に個々の言語の特性をより深く理解させようという、ユニークな授業です。そして、この教育プログラムにおいて欠かせない教材が映画です。本講演では小野先生に、映画を教材とするこのような言語教育の有効性についてお話し頂きます。

【講師プロフィール】

1954 年三重県、津市に生まれる。

京都外国語大学大学院、及び San Francisco State University 大学院修了。

現在、京都外国語大学大学院外国語学研究科科長。

専門研究分野は生成文法(Generative Grammar)、言語学。

1988 年、NHK ETV 8 文化ジャーナル「チョムスキー氏に聞く」(NHK教育テレビ)において京都賞を受賞した Noam Chomsky 教授のインタビューと解説。「ティームティーチングによる二言語同時学習」が 2006 年度の「特色ある大学教育支援プログラム」(特色 GP)に選定される。著書に『英語の輪郭:原理変数理論解説』(英潮社、1991)、『生成文法用語辞典』(大修館書店、1993)、『英語の構造』(金星堂、2004)などがある。

好きな映画は『ハリー・ポッター』『スター・トレック』など。



■支部だより■

[北海道支部]

◆2015年3月21日(土)、小樽商科大学札幌サテライトにて、第4回支部大会を開催しました。祝日にもかかわらず、学生、院生を含む50名を越す参加者を得て、学び合うことが多い大会となりました。

研究発表は、秋山敏晴(北海道科学大学)、ピーター・ランバート(北海道札幌開成高等学校)、角山照彦(広島国際大学)、藤枝善之(京都外国語大学)の各先生による4演題でした。倉田誠会長(京都外国語大学)からは、「ATEMの立ち位置と方向性」と題した当学会の方針解説をいただきました。

北海道支部大会は、第1回から「コーヒーブレイク」を設けるなど、参加者が気軽に個人ネットワークを築ける仕組みを工夫してきました。昨年の第3回大会からは「ポスター発表、教材シェア」で、個々のつながりの強化に努めましたが、今回はさらに、支部特別企画として「映画英語学習ティップ」と題した、教育者のみならず学習者との語らいの場を広げる試みを行いました。この企画は、「英語教育」と「キャリア」のコーナーに分け、各ブースで専門家が個別に質問や相談を受け、意見交換を行うものです。今回は、英語教育コーナーに河上昌志(札幌市立北野台中学校)、田口雅子(とわの森三愛高等学校)、小林



敏彦(小樽商科大学)の各先生が、キャリアコーナーに松田愛子、北間砂織、坂部俊行の3氏がそれぞれの専門分野「映像翻訳」「医療通訳」「国際ビジネス」を掲げ、専門分野と映画を使った英語学習について情報提供しました。この他、今回は大学院生の細木健太、斉藤巧哉両氏による「留学体験」ブースや、西日本支部の参加者有志による「ATEM西日本」ブースも特設し、会場のあちこちで活発なやり取りが見られました。

(支部長：秋山 敏晴)

[東日本支部]

◆2014年11月30日(日)に開かれた、第5回東日本支部大会には、会長の倉田誠先生(京都外国語大学)と、西日本支部の藤枝善之先生(京都外国語大学)がお越しくださいました。倉田先生は「Let X go 構文の多義性と汎用性について」と題した特別講演で、ヒット作『アナと雪の女王』のキーワード“Let it go”の意味を類例と共に示されました。藤枝先生は「映画で学ぶ英語の丁寧表現」と題し、『赤毛のアン』と『明日に向かって撃て!』を用いた言外のif節ほかの例を説明されました。それぞれたい



講演中の倉田先生

へん興味深く拝聴しました。なお今回、東日本支部では特別に、「ロビン・ウィリアムズ追悼シンポジウム」を開催し、藤田久美子先生(白梅学園大学)と日影尚之先生(麗澤大学)が『グッド・ウィル・ハンティング』と『アンドリュー NDR114』を分析しました。他にも研究発表が6件あり、充実した一日を過ごしました。

◆2015年3月8日(日)には趣向を変えて、研究発表の形をとらず、「春季セミナー」と銘打って、アニメーターの富沢信雄氏をお招きし、アニメ制作の舞台裏を大いに語っていただきました。氏は1970年代、つまりジブリの前身が数々のアニメを作っていた頃から、『アルプスの少女ハイジ』『赤毛のアン』『ルパン三世 カリオストロの城』『名探偵ホームズ』などの諸アニメ名作で原画・絵コンテ・演出に携わられました。最新作はイタリアで先に公開される『ルパン三世』となります。秒単位で入れる台詞の技など、興味深い内容ばかりでした。(支部長：吉田 雅之)

[中部支部]

◆2014年10月4日(土)、金城学院大学サテライトにおいて、支部大会を開催しました。研究発表2件、実践報告1件、特別講演という内容でした。井土康仁先生(藤田保健衛生大学)が「地図・言語・距離-『イングリッシュ・ペイシェント』アルマシーを中心に」、林雅則先生(木本高等学校)が「映画を利用した効果的な授業の試み~選択授業と夏休みの文法補習授業~」、そして、井上雅紀先生(愛知インターナショナルスクール)が「映画に観る宗教的背景」と題し、発表しました。



特別講演の様子

特別講演は、「市民ケー-単純と難解のはざまを探る-」と題し、浮世絵研究家の勝原良太氏にお話いただきました。この開催方法

での実施は昨年に引き続き2回目ですが、年ごとに充実しています。

◆分掌構成の改編に伴い、支部役員組織の若干の見直しも予定しております。更なるATEMの発展につながるよう、適材適所の人事配置を念頭に選出していく所存です。ぜひ、よろしくお願いいたします。

(支部長：諸江 哲男)

[西日本支部]

◆2014年11月8日(土)、兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパスで第12回支部大会を開催し、約70名の参加者を以って盛会に終わりました。シンポジウムは『インビクタス 負けざる者たち』徹底活用法』と題して、オーラルコミュニケーションの視点から近藤暁子先生(兵庫教育大学)が、スポーツ英語の視点からJulian Wayne先生(大阪体育大学)が、異文化理解の視点から浅野英一先生(摂南大学)が活用法を提案されました。



左から、近藤先生、Wayne先生、浅野先生

特別講演では、『『インビクタス』-その音と言葉をめぐって』と題し、里井久輝先生(龍谷大学)にお話いただきました。研究発表では、衛藤圭一先生(帝塚山大学)、藤倉なおこ先生(京都外国語大学)、北本晃治先生(帝塚山大学)、吉浦潤次先生(大阪電気通信大学)、賀治一市先生(Ichi 映語 House)、Michael Herke先生(摂南

大学)、Graham Jones先生(Ten Sentences)が日頃の研究成果をご発表されました。賛助会員発表では、「お薦めビジュアル英語教材」と題して、朝日出版社、EnglishCentral/成美堂、セングージラーニング、ピアソン・ジャパンの各社にご案内頂きました。

◆2015年3月21日(土)の第4回北海道支部大会では、西日本支部から、角山照彦先生(広島国際大学)、藤枝善之先生(京都外国語大学)、横山仁視先生(京都女子大学)が参加し、支部間の学術交流を図りました。

◆「第6回映画英語学ワークショップ」は、2015年6月27日(土)に開催いたします。詳細は支部ホームページをご覧ください。

(支部長：横山 仁視)

[九州支部]

◆前号で特集されましたように、2014年8月20日(水)、福岡女学院大学に於いて平成26年度の全国大会が開催され、開催大学所属の中島千春先生や宮内妃奈先生をはじめ、多くの九州支部会員のご協力を得、無事に終えることができました。支部としては副支部長3人体制で全面的にバックアップさせていただきました。関係者の皆様に、この紙面をお借りし、再度感謝申し上げます。

◆2014年9月6日(土)、西南女学院大学で支部大会を開催しました。

今回は、他の2学会と合同開催という試みを行ないました。盛会のうちに無事に終えることができましたが、この



会場の様子

スタイルでの開催は今後、慎重に検討しながら進めていくことになりました。

◆2015年4月からの支部役員には、新たに福田浩子先生(福岡大学)に加わっていただき、更なる支部発展のためにご尽力いただくこととなっております。

◆2015年度の支部大会は9月13日(日)、福岡医療短期大学での開催を予定しております。他の支部からの参加も喜んでお待ちしております。詳細は支部ホームページをご覧ください。

(支部長：高瀬 文広)

■委員会だより■

【国際交流委員会】

19th STEM International Conference について

ATEM の姉妹学会である STEM (The Society for Teaching English through Media) の第 19 回国際大会は、2015 年 5 月 16 日 (土) に、ソウルの南約 80km に位置する天安市 (チョナン市) の韓国ナザレ大学 (Korea Nazarene University) で開催されます。大会テーマは、“How to Develop Movie and Media Materials” です。今回 ATEM からは下記の先生方が発表される予定です。

年々韓国の先生方との交流が深まり、研究や授業でのコラボレーションも生まれています。どうぞ応援、聴講、交流に、多数のご参加をお待ちしております。

なお、これまでに ATEM の全国大会、もしくは支部大会で発表された会員の方であれば、STEM 国際大会での研究発表に応募することができます。さらに、STEM 国際大会で発表された方は、STEM Journal (季刊) に応募する資格も与えられます。詳しくは、ATEM ウェブサイトのトップメニューから「論文・紀要」→「STEM 大会発表&紀要投稿」をご覧ください。

(委員長：井村 誠)

[STEM 第 19 回国際大会発表予定者]

1. 大月敦子先生、カレイラ松崎順子先生 (東日本支部)
2. 吉牟田聡美先生 (東日本支部)
3. 横山仁視先生 (西日本支部)
4. * ジェフ・バーグランド先生 (西日本支部)
5. ウィリアム・フィゴーニ先生、井村誠先生 (西日本支部)
6. 山下友子先生・冬野晴美先生 (九州支部)

* はメインホールでの ATEM 代表発表者

○韓国ナザレ大学

<http://cms.kornu.ac.kr/user/eng/>



○STEM ウェブサイト

<http://www.stemedia.co.kr>



【ICT 委員会】

新ホームページ開設および委員会発足について



本部ホームページの新トップページデザイン

セキュリティ強化と利便性の向上を目指し、仮サイトにて運用していた ATEM の本部ホームページですが、昨年 12 月に無事、リニューアルすることができました。切り替えの際には一部のサービスを停止せざるを得ず、皆様にご迷惑をおかけしてしまったことをお詫び申し上げます。ATEM 本部ホームページは、これで本格運用となります。

新ホームページ開設にあたり、デザインの一新だけでなく、機能においても新しい試みを行っております。そのひとつが動画の導入です。手始めに 2014 年の全国大会での会長挨拶をトップページ掲載しました。動画についてはまだ検討事項が多く、技術面も伴っていないため、試験的運用の域を出ませんが、時間をかけ、経験を積むことでより実りあるものにできればと考えております。こうした新機能のこともあり、この部門はこの度、延原みか子先生 (東京都立産業技術高等専門学校) と吉牟田聡美先生 (聖学院大学) の 2 名を委員としてお迎えし、「ICT 委員会」として活動する運びとなりました。IT 全般そしてホームページをよりダイナミックに展開していく上での組織となります。

(委員長：新田 晴彦)

【広報委員会】

Newsletter とホームページ運用サポートについて

今号も多くの方のご理解・ご協力で無事発行ができました。この Newsletter は、紙版が会員の皆様のお手元に届く前から、本部ホームページ「ATEM について」→Newsletter のページにフルカラーpdf 版で掲載されます。ぜひ当学会の広報ツールとしてもお役立てください。

さて当委員会では、全国大会の記録と本広報誌作成のほかに、ホームページ運用サポートを業務の一つとしておりますが、その中で特に動画コンテンツの作成が期待されております。昨年は試験的に、新ホームページのトップ掲載用として、第20回全国大会での会長挨拶を収録しました。今後はICT委員会との連携を強め、充実したコンテンツ提供を行って参る所存です。なお昨年につき、本年も全国大会案内チラシ作成に協力します。

(委員長：松田 愛子)

【紀要編集委員会】

ATEM ジャーナル第20号について

今号から論文の掲載順を変更しました。従来は修正原稿の仕上がり順で掲載していましたが、これを変更して研究分野ごとにまとめ、執筆者氏名の50音順で掲載することとしました。幅広い分野からの投稿をお願いしていることに対応した改変です。

さて、「映画」は我々知っての通り、言語や文化的要素を多数含んだ「教材や研究材料の宝庫」です。娯楽を匂わすような一面もあるかも知れませんが、そこに留まりません。本学会は、その研究分野を狭義の英語教育から広義の英語教育（英語教育、英語学、文化論、文学、コミュニケーション論、地域研究）にシフトしています。ここで、この「広義の英語教育」のATEM論文の要件を再確認させていただきます。

- (1) 英語教育に言及する節が1つ以上ある
- (2) (1)によらず全体に英語教育のキーワードが挿入されている
- (3) 結論等に英語教育に関する言及がなされ、それに対して英語教育への応用に特化した注がつけられている
つまり「(狭義・広義の)英語教育+映画等の視聴覚メディア=ATEM論文」というのが要件です。

今年も多くの皆様からの玉稿をお待ちしています。

(委員長：塚越 博史)

●ATEM論文リンク集●

CiNiiで閲覧が可能な、ATEM 紀要『映画英語教育研究』掲載論文および研究報告は下記よりアクセスできます。ご活用ください。

<http://atem.org/doc/>

【大会運営委員会】

第21回ATEM全国大会について

本年8月7日、京都女子大学にて第21回ATEM全国大会が開催されますが、大会運営委員会（委員長：藤枝善之、委員：松田早恵先生）は、会場を担当する大会実行委員会（委員長：横山仁視先生、委員：井村誠先生ほか）の協力を得て、精力的に準備を進めています。今回の大会テーマは「映画で英語学習を観なおす／Revisiting English Learning through Media」で、京都外国語大学教授の小野隆啓先生を特別講演の講師としてお招きします。小野先生には「映画を使った「2言語同時学習」のすすめ／Bi-language Simultaneous Learning with the Aid of Movies」というタイトルで、京都外国語大学で展開しておられる対照言語学的アプローチの授業と、教材としての映画の有効性についてお話し頂きます。

(委員長：藤枝 善之)

2015年8月7日(金)開催 第21回ATEM全国大会 開催会場



 京都女子大学

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35
<http://www.kyoto-wu.ac.jp/index.html>

全国大会の詳細は、下記本部ホームページの大会ページに公開しますのでご覧ください。

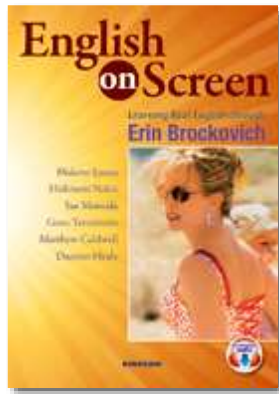
<http://atem.org/>第21回atem全国大会/

※<http://atem.org/>トップメニュー「全国大会」→「第21回ATEM全国大会」からアクセスできます。

※会員は全国大会の参加申し込みを本部ホームページ「会員管理システム」から行ってください（本紙P8参照）。

■書評

English on Screen Learning Real English through Erin Brockovich 映画『エリン・ブロコビッチ』 で学ぶ実践英語の基本



井村誠・中井英民・松田早恵・山本五郎・Matthew Caldwell・Damien Healy 編著 (金星堂、2015)

『エリン・ブロコビッチ』は、2000年に制作されたハリウッド映画です。映画本編では、法律の教育を受けたことがなく、資格や専門知識もないエリンが、公害を受けた地域住民との信頼関係を築きながら証拠を集め、巨大企業から正当な賠償金を勝ち取るために奮闘する姿が描かれています。主演のエリンを演じたジュリア・ロバーツ（表紙写真）は、第73回アカデミー賞で主演女優賞を受賞しました。この映画は実話に基づいており、実在するエリン・ブロコビッチが関わった公害訴訟は、3億3300万ドル（当時の為替レートで約370億円）というアメリカ史上最高額の和解金で注目を集めました。

シングルマザーであるエリンが、3人の子供達や恋人、法律事務所の上司や同僚たちと衝突しながらもなんとかうまくやっつけていこうとする姿は、家族や仕事、そして人間関係等について考える機会を与えてくれます。逆境にめげず様々な困難を乗り越えていくエリンの痛快なキャラクターとその生き様を観れば、感動はもちろん、やる気や勇気が湧きあがってくることでしょう。

本書『English on Screen』は、この映画『エリン・ブロコビッチ』を題材とした英語の総合教材です。映画本編を6つのストーリーに分けた構成になっており、それぞれのストーリーは、書き下ろしのテキストを読んで映画の内容を把握するリーディングユニットと、映画のシーンや音声を中心としたオーディオ・ビジュアルラーニングのユニットから成り立っています。

リーディングユニットでは、重要表現や頻出語句を学習するための語彙問題が各種揃えられており、本文中の

語句だけではなく反意語や同意語など幅広い語彙を学ぶことができます。また、Grasping the Outlineのセクションでは、登場人物や場面をパラグラフごとに表にまとめることで、話の流れを分かりやすく整理することができます。

本書の特色の一つは、リーディング本文を使ったチャンクリーディング用の演習が設けられていることです。意味語群(Sense Group)ごとに英文を適切に区切って読む演習は、情報を読み取る力を伸ばすことはもとより速読力の養成にもつながるものです。本書では、より良い読み手になるための段階的なエクササイズを Phrase Reading Exercise として用意しており、順を追って取り組むことで実践的なリーディング力を身に付けることができるようにデザインされています。

オーディオ・ビジュアルラーニングのユニットでは、映画のシーンをもとにした発信技能のための演習を多く盛り込んでいます。特に映画のセリフを用いて発話演習を行う Acting Out のセクションは興味深いものです。登場人物をお手本にしてオーラルコミュニケーション

の練習に取り組むのは、学習者にとってよい刺激となるでしょう。

学習クリニックでは、英語力を伸ばすために役立つ知識や勉強法を紹介しています。字幕の活用法、英語の音声特徴、語彙学習ストラテジーや原作小説の教材としての可能性など、映画を活用した英語学習ならではのトピック

が取り上げられており、いずれも英語上級者になるための道しるべとなるはずです。

また、英語のセンスを磨くためのミニコラムも随所にちりばめられています。口語表現ティップス、語法・文法ティップス、字幕ウォッチングでは、なるほどと思えるような情報が小気味よくまとめられており、各セクションの演習問題を繋ぐよいスパイスとなっています。

授業で採用する教員側の視点から見ると、試訳や解答例にあわせて映画のDVDや全スクリプトが提供されることになっており、教授用資料が充実しているのも見逃せないポイントです。内容の濃い名作映画を元に作成された本書は、様々な授業で活用できる魅力的なテキストだと言えるでしょう。

山本五郎 (広島大学)



■会員管理システムのご利用について

本部ホームページのトップメニュー「会員専用ページ」から「会員管理システム」へアクセスください。

<https://atem.org/member/>



会員専用ページメニュー「個人のページ」「個人の会費納入状況」「大会情報」「紀要情報」から、・会員の個人情報更新 ・会費の納入状況の確認 ・全国大会への研究発表応募及び大会参加申し込み ・紀要への論文投稿 が可能です。 ※2014年12月に本部ホームページがリニューアルしておりますのでご注意ください。

1. 2015年度会費（4/1～翌3/31）5000円の納入をお願いします（納入期限：6/30）。同封もしくは郵便局備え付けの振込用紙（青色）をご利用の上、下記口座へ納入ください。個別の納入状況については、本部ホームページ内にある「会員情報システム」（この頁の上部参照）で確認が可能です。2年以上滞納された場合には、会員資格を失いますのでご注意願います。

ゆうちょ銀行：00820-3-1477
 口座名義：映画英語教育学会事務局
 ※通信欄に「〇〇年度年会費」と明記ください。

ATEM Clapper Board



2. ATEMは論説資料保存会に加盟しており、紀要『映画英語教育研究』は学会外にも公開しています。公開内容は下記URLからご覧いただけます。
<http://www.ronsetsu.co.jp/>
3. ご同僚やご友人にもぜひ本紙をご一読いただくようお声かけください。

事務局 office@atem.org

<賛助会員一覧> (50音順)

株式会社朝日出版社
 株式会社アルビス
 Well 株式会社
 オックスフォード大学出版局
 株式会社金星堂
 株式会社近代映画社
 国際トラベル京都
 コンパスパブリッシングジャパン株式会社
 松柏社
 株式会社成美堂
 センゲージラーニング株式会社
 チエル株式会社
 広島工業大学学務部 MM 準備室

2015. 4. 1 現在

～編集後記～

- ・支部人事異動に伴い、西日本支部は衛藤圭一先生（京都外国語大学）、九州支部は鶴田知嘉香先生（福岡常葉高等学校）を広報委員としてお迎えしました。これまでご活躍いただいた旧委員の横山仁視先生（京都女子大学）、秋好礼子先生（福岡大学）に心より感謝申し上げます。
- ・次号（NL29、第21回全国大会特集）は10月発行の予定です。

[広報委員会] 2015.3.1 現在

委員長：松田 愛子（北海道）

委員：延原 みか子（東日本）井土 康仁（中部）
 衛藤 圭一（西日本）鶴田 知嘉香（九州）

©ATEM All rights reserved.

